取扱および軸への取付

1. カップリングの取扱

取扱については取扱説明書を熟読してください。ビームカップリングは全て軸穴仕上げ品での納入になりますので、装置にそのまま組み付けられます。以下の要領で軸へ取付けてください。取付の際はカップリングに無理な力が掛ったり、落下させたりしないよう注意してください。

2. 心出し

カップリングを取り付ける両軸のミスアライメントが表1の各サイズの許容値内になるよう心出しを行ってください。

ミスアライメント量が小さいほど寿命が伸びますので、ミスアライメントはできるだけ小さな値としてください。

カップリングを両軸に入れた時、スムーズに動くことを確認してください。

運転中に軸が熱等で伸縮する場合は、その伸縮量も含めて表1の軸方向変位内に収まるようにしてください。

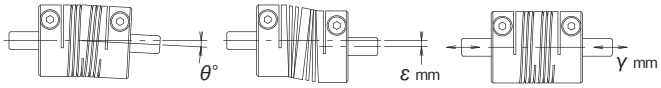

表1 性能と許容ミスアライメント

形　番	許容トルク (N·m) {kgf·m}	許容 回転速度 (r/min)	許容 角度誤差 θ(deg)	許容 平行誤差 ε(mm)	許容 軸方向変位 γ(mm)
BJD13	0.23 {0.023}	6000	3	0.203	0.127
BJD16	0.34 {0.035}	6000	3	0.203	0.127
BJD19	0.40 {0.041}	6000	3	0.203	0.127
BJD22	0.45 {0.046}	6000	3	0.203	0.127
BJD25	0.85 {0.087}	6000	3	0.381	0.254
BJD29	0.96 {0.098}	6000	3	0.381	0.254
BJT32	1.22 {0.124}	6000	3	0.381	0.254
BJT38	2.26 {0.231}	6000	3	0.762	0.381

許容ミスアライメントは他の2つのミスアライメントが0の時の値を示す

3. 取　付

六角穴付止めネジ又は六角穴付ボルトを表2の締付けトルクで締付け、ハブを軸に固定してください。

表2 六角穴付ボルト、六角穴付止めネジ締付トルク

形　番	止めネジタイプ		クランプタイプ	
	ネジサイズ	締付トルク (N·m){kgf·m}	ネジサイズ	締付トルク (N·m){kgf·m}
BJD13	M2	0.21 {0.021}	M2	0.60 {0.061}
BJD16	M3	0.92 {0.094}	M2	0.60 {0.061}
BJD19	M4	2.20 {0.224}	M2.5	1.21 {0.123}
BJD22	M4	2.20 {0.224}	M3	2.10 {0.214}
BJD25	M4	2.20 {0.224}	M4	4.60 {0.469}
BJD29	M5	4.00 {0.408}	M4	4.60 {0.469}
BJT32	—	—	M5	9.50 {0.97}
BJT38	—	—	M5	9.50 {0.97}

4. 取扱注意

使用雰囲気温度範囲は −30℃～ 100℃です。
軸穴等の追加工をされますと、カップリングが変形する場合がありますのでさけてください。

安全にご使用いただくために

警告　危険防止のため、下記の事項に従ってください。

- ●高速回転の機械や振動のある機械では、構成部品のゆるみや脱落、破損等で周囲に危険がおよばないよう必ず危険防止具(安全カバー等)をつけてください。
- ●所定のトルク値で締め付けが必要な場合は、必ずトルクレンチを使用してください。
- ●付属の締め付けボルト以外は使用しないでください。締め付けボルトは特殊な高強度ボルトを使用していますので、紛失された場合はお求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
- ●労働安全衛生規則第2編第1章第1節一般基準を遵守してください。
- ●製品の取り付け、取り外し、保守、点検等の際には、
  ·作業に適した服装、適切な保護具(安全眼鏡、手袋、安全靴等)を着用してください。
  ·事前に必ず装置の元電源を切り、また不慮にスイッチが入らないようにしてください。
  ·取扱説明書もしくはカタログに従って作業してください。
- ●吊り下げ装置等、常時荷重が作用している場合、保守点検等を行うときは荷重を取り除いたうえで作業するかまたは落下防止の措置を講じてください。不用意に軸継手の連結を外すと落下事故に繋がります。

注意　事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- ●構成部品は、取り付け精度、運転時間等により摩耗、損傷します。定期的に保守点検を行い、装置側にもあらかじめ安全対策を講じてください。
- ●所定のトルク値で締め付けが必要な場合は、トルク調整目盛りのないトルクレンチは使用しないでください。 重大なトラブルの原因になります。また、トルクレンチのレバーにパイプを継いで使用しないでください。適正な締め付けトルクが得られません。
- ●取付状況、装置の運転状況、使用環境などにより、締め付けボルトが緩んだ場合、事故が予想されるときは、あらかじめ装置側において安全対策を講じてください。また定期的に緩みがないか、締め付け状況を確認ください。
- ●取扱説明書は、必ず最終ご使用になるお客さまのお手元まで届くようにしてください。

保 証

1．無償保証期間
工場出荷後18ヵ月間または使用開始後(お客様の装置への当社製品の組込み完了時から起算します)12ヵ月間のいずれか短い方をもって、当社の無償による保証期間と致します。

2．保証範囲
無償保証期間中に、お客様側にて取扱説明書に準拠する正しい据付·使用方法·保守管理が行われていた場合において、当社製品に生じました故障は、当社製品を当社に返却いただくことにより、その故障部分の交換または修理を無償で行います。
但し、無償保証の対象は、あくまでお客様にお納めした当社製品単体についてのみであり、以下の費用は保証範囲外とさせて頂きます。
(1) お客様の装置から当社製品を交換又は修理のために、取り外したり取り付けたりするために要する費用およびこれらに付帯する工事費用。
(2) お客様の装置をお客様の修理工場などへ輸送するために要する費用。
(3) 故障や修理に伴うお客様の逸失利益ならびにその他の拡大損害額。

3．有償保証
無償保証期間にもかかわらず、以下の項目が原因で当社製品に故障が発生しました場合は、有償にて調査·修理を承ります。
(1) お客様が、取扱説明書通りに当社製品を正しく据付けられなかった場合。
(2) お客様の保守管理が不充分であり、正しい取扱が行われていない場合。
(3) 当社製品と他の装置との連結に不具合があり故障した場合。
(4) お客様側で改造を加えるなど、当社製品の構造を変更された場合。
(5) 当社または当社指定工場以外で修理された場合。
(6) 取扱説明書による正しい運転環境以外で当社製品をご使用になった場合。
(7) 災害などの不可抗力や第三者の不法行為によって故障した場合。
(8) お客様の装置の不具合が原因で、当社製品に二次的に故障が発生した場合。
(9) お客様から支給を受けて組み込んだ部品や、お客様のご指定により使用した部品などが原因で故障した場合。
(10) 使用条件によって正常な製品寿命に達した場合。
(11) その他当社の責任以外で損害が発生した場合。

4．当社技術者の派遣
当社製品の調査、調整、試運転時等の技術者派遣などのサービス費用は別途申し受けます。